

令和2年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

|      |   |      |    |
|------|---|------|----|
| 氏名   | 鈴木 正光   | 活動年数 | 2年 |
| 活動目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農地の整備、及びぶどう栽培の開始</li> <li>2. ぶどう栽培、ワイン醸造のための技術習得</li> <li>3. マーケティング知識、次世代農業知識の習得、海外のワイナリー視察</li> <li>4. 仁木町主催のイベントへの参加</li> </ol>  |      |    |
| 活動内容 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年3月末に取得した農地を、近隣の農家や協力隊メンバーなどの協力を得ながら、開墾・整地・測量を実施し、約2,200本の苗木の植樹を5月末までに、垣根の構築を8月中旬までに行った。また、ぶどう栽培も計画通り行った。</li> <li>2. 以下のワイナリーにて研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4/01-9/13 RITA FARM：ぶどう栽培の研修</li> <li>9/14-11/30 10R ワイナリー：醸造の研修</li> <li>12/01-3/31 RITA FARM：ワイン醸造の研修</li> </ul> ぶどう栽培、ワイン醸造において長い経験のあるワイナリーにて研修を行い、低農薬栽培方法、及びワイン醸造の技術を習得した。<br/> また、以下の公開セミナーに参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>11/26 ワインアカデミー公開講座①：山梨におけるブドウ栽培</li> <li>2/12 ワインアカデミー公開講座②：グラス・テイスティング</li> <li>2/16 醸造用ぶどうセミナー：ブドウの仕立てと剪定法</li> <li>3/19 日本ワイナリー協会セミナー：ワイン造りに必要な分析</li> </ul> </li> <li>3. COVID-19の影響で、予定していた研修や展示会には参加出来なかった。また海外のワイナリー視察も実現出来なかった。2021年度に改めて検討する。</li> <li>4. 仁木町主催のイベントは総てCOVID-19の影響で中止となった。</li> </ol> <p>その他には、以下のセミナーに参加、また地域おこし協力隊としての活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 8/17 地域おこし協力隊 清掃作業</li> <li>- 9/08 地域おこし協力隊 清掃作業</li> <li>- 2/09 地域おこし協力隊 全道研修会（オンライン）</li> </ul> |      |    |
| 自己評価 | <p>●一年間の自己評価及び進捗状況</p> <p>ぶどう栽培、ワイン醸造の為の技術や知識の習得は概ね達成できた。<br/> マーケティング知識、次世代農業知識の習得に関しては、COVID-19の影響で予定していた研修や展示会には参加出来なかった。それに代わる公開セミナーやオンライン研修などをもう少し積極的に検索すべきであった。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>二つのワイナリーでワイン醸造の研修を受けたことで、幅広い技術・知識・経験を得られたと感じる。さらなる技術・知識・経験を得るために引き続き研修は必要と考える。</p>  |      |    |

|     |   |
|-----|---|
|     | ぶどう栽培は概ね順調ではあるが、もう少し効率的・効果的な作業方法を模索したい。   |
| 抱負  | 令和3年度に予定されている苗木約1,500本の植樹を終わらせるとともに、令和4年度に1,000~2,000本のワイン醸造が可能な量のぶどうを収穫できるように、ぶどう栽培を進めて行く。<br>引き続き経験のあるワイナリーでのぶどう栽培・ワイン醸造の研修を行う。<br>令和2年度に参加を予定していた研修や展示会に参加し、マーケティング知識、次世代農業知識の習得を積極的に行う。 |
| その他 | 特になし  |

|      |   |
|------|---|
| 活動写真 |  <p>整地作業：サクランボ用のハウスを解体後に、近くの農家さんと一緒にサクランボの樹の伐根作業を行いました。</p>  <p>整地作業：トラクターを使い、圃場を耕す作業を行いました。</p>  <p>約2,200本の苗木を植樹しました。</p> |
|------|---|



垣根を設置しました。



10Rでの醸造研修：ベルトコンベヤ上に流れるぶどうの選果作業です。



10Rでの醸造研修：除梗作業です。梗を取り除きぶどうの粒だけを取り出します。



10Rでの醸造研修：アルコール度数を測るための機器です。これらを使い、測定の研修を受けました。



10R での醸造研修：赤ワインを作る場合、ぶどうの皮や梗を一緒にタンクに入れて発酵させます。皮や梗をタンクから取り出す作業です。